

プロフィール



名前	林 憲悟
所属部署	農研機構・畜産研究部門 家畜育種繁殖研究領域 繁殖性向上ユニット
職種	主任研究員
この研究室に入った日	2007. 4. 1.
出身地	北海道札幌市
趣味	コンサドーレ札幌・鉄道

インタビュー

Q1 現在の研究室の仕事内容を教えてください。

雌牛の妊娠の成立（母体の妊娠認識～着床～胎盤形成）に関する、子宮、胚、卵巣、胎盤の因子や作用機構の解明に取り組み、受胎性の評価や受胎率を向上させる技術の開発につなげる研究をしています。学生のインターンシップも随時受け入れています。

Q2 研究室の仕事の進め方は？

5年間の全体計画の各年度計画に基づいて研究を進めます。目的に応じて、細胞や組織を使った *in vitro* 実験から、牛（主に黒毛和種）の生体を用いた *in vivo* 実験まで手広くできるのが最大の特徴です。研究室のメンバーはそれぞれ抱える研究課題に取り組んでいますが、いつも気軽に議論や相談をしています。



牛達に感謝！

Q3 研究所の研究環境は？

実験機器や実験牛などは充実しているのではと思います。胚に子宮、胎盤など牛の各試料をこれほど採材できるところは他にあまり無いのではないのでしょうか。

学生の教育が通常はありませんので研究に集中できますが、戦力不足は否めないのと、若人の活気が無いに等しいのは少し寂しいです（ベテランの雰囲気とも言えるのか？）。一方で、たとえ頭の働きの身体がついてこなくなろうとも、現場第一線に出て研究を続けることもできます。また、機構本部や研究所の企画運営部門などに異動になり、研究から数年間離れることもあります。

Q4 つくばはどんなところ？

適度な田舎と適度な都会が釣り合っていると思います。快晴の日の筑波山は本当に綺麗で、朝の出勤途中に山頂までくっきり見えると何かいいことありそうな気がします。あとは、いろいろな分野の科学と身近に触れ合える施設が多いのも魅力です。我が家のお気に入り、そびえ立つH2ロケットが目印の「エキスポセンター」です。

Q5 若手研究者へのメッセージ

研究は一人ではできません。ラボメンバーや共同研究者はもちろん、動物管理や庶務など裏で支援してくれる方達にも敬意を払うことが大切だと思います。お互いが気持ちよく仕事をする事ができれば、自ずと道は開かれるのではないのでしょうか。

学生さんは、今のうちに教官からたくさん叱られてください。大学を出ると本人の為を思って叱られる機会はほとんどありません。その時は聞く耳持たずでも、後になって意味がわかる時が必ず来ますよ。



最後の頼りは仏様!?
(所の屋上から拝む牛久大仏)